

大会名称: **東日本大震災復興支援
第9回全日本社会人バスケットボール選手権大会**

開催場所: **広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) Bコート**

試合区分: **No. 2 男子 1回戦**

期 日: **2013(H25)年11月3日(日)**

主審: **堀内 純**

開始時間: **10:00**

副審: **恩地 孝明**

日立金属		○		23 - 12		●		大阪ディノニクス							
(実業団5)		95		18 - 14		60		(クラブ3)							
21 - 15				33 - 19											
-				-											
-				-											
-				-											
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0		鈴木 恵二	5	1	1	0	2	0		奥田 翔	6	1	1	1	0
1	*	宮城 徹	12	2	3	0	1	1		宮武 謙次	-	-	-	-	-
3		宇佐美 勝也	4	0	2	0	0	3	*	大曾根 秀威	11	0	3	5	3
7		中村 啓彦	15	5	0	0	3	5		河田 和也	0	0	0	0	0
9	*	小野寺 充記	4	0	2	0	4	6		多田野 竜正	-	-	-	-	-
15	*	一戸 誠也	14	0	7	0	1	7		大曾根 俊介	-	-	-	-	-
24	*	黒田 幸太	21	0	8	5	3	11	*	益田 浩和	21	2	7	1	1
34	*	尾崎 宏次	20	3	5	1	1	14	*	高笠 優	6	0	3	0	4
								22		太田 和利	-	-	-	-	-
								33	*	新里 将太	13	0	5	3	3
								37		加藤 慎太郎	-	-	-	-	-
								55		高橋 利輝	-	-	-	-	-
								66	*	坂之上 晃	3	0	1	1	3
								69		岡本 匡史	-	-	-	-	-
								70		石橋 貴俊	-	-	-	-	-
コーチ		小泉 直樹 / TEAM						一子		高橋 利輝 / TEAM					
		合計	95	11	28	6	15			合計	60	3	20	11	14

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド: 両チームともハーフコートマンツーマンで試合が始まる。リバウンドで体を張った日立金属が序盤でリードし、ディノニクス12-23日立金属で第1ピリオド終了。
 第2ピリオド: ディノニクスはゴール下ヘドライブをしかけ、得点を重ねるが、粘りのディフェンスを見せる日立金属の前に反撃のきっかけを掴めない。一方、日立金属はリバウンドから速攻が出始め、じわじわと点差を広げる。ディノニクス26-41日立金属で第2ピリオド終了。
 第3ピリオド: 両チームとも攻撃のテンポが速くなり、シュート数が一気に増えるが、激しいディフェンスでどちらも譲らない。日立金属は外からのシュートを中心に、ディノニクスはゴール下を中心に得点を重ねる。しかし、点差は大きく変わらず、ディノニクス41-62日立金属で第3ピリオド終了。
 第4ピリオド: 点差を縮めたいディノニクスは#33が立て続けにゴールを決め、食い下がるが、日立金属は早いパス回しから中外とシュートを安定して決め続け、一気にリードを広げる。ディノニクス60-95日立金属で終始リードを守った日立金属が初戦の勝利を飾った。